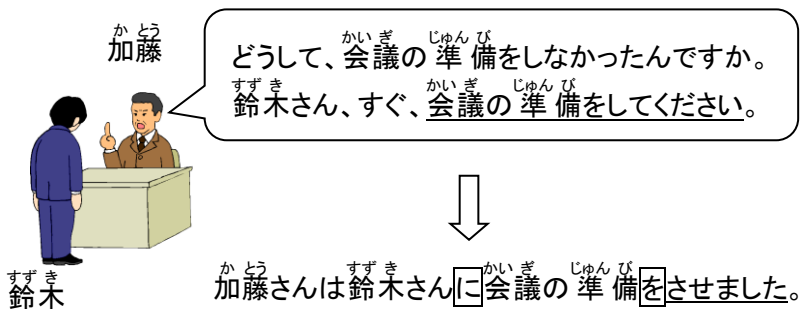


## (1) ～は～に～を[v.t. causative].



## 使役形の作り方

Group 1	Group 2	Irregular verbs	
飲 <small>の</small> みます	食 <small>た</small> べます	しま <small>し</small> ます	来 <small>き</small> ます
飲 <small>の</small> ませ <small>せ</small> ます ら	させ <small>さ</small> ます る	させ <small>さ</small> ます る	来 <small>こ</small> させ <small>せ</small> ます る

} Group 2

## (1) make ...～は～に～を[v.t. causative].

## 【例】

- ① 先生はいつも私たちにたくさん宿題をさせます。
- ② 部長は渡辺さんにたくさんビールを飲ませました。
- ③ きのう、私は彼に料理を作らせました。
- ④ 子供に時々自分で部屋をそうじさせた方がいいと思います。
- ⑤ 部長は会議で山中さんに新しいプロジェクトについて報告をさせました。
- ⑥ 私は部下に荷物を運ばせました。



れんしゅう  
【練習】

- ① 先生 → 学生 「53 ページを読んでください」
- ② 先生 → 学生 「漢字を勉強しなければいけませんよ」
- ③ お母さん → 子供 「部屋を片付けて」
- ④ 友達 → 私 「もう一曲歌ってください」
- ⑤ 妻 → 夫 「トイレの掃除をしておいてね」
- ⑥ 社長 → 秘書 「お客様にコーヒーを入れて」
- ⑦ 先生 → 学生 「新しい言葉を使ってダイアログを書いてください」
- ⑧ 上司 → 部下 「書類をコピーしてください」
- ⑨ 上司 → 部下 「来週のスケジュールを確認してください」
- ⑩ 上司 → 部下 「テーブルの上に資料を並べておいてください」
- ⑪ 上司 → 部下 「このレポートは全然だめですね。書き直してください」
- ⑫ 上司 → 部下 「見積書を作ってください」
- ⑬ 上司 → 部下 「内容を詳しく説明してください」
- ⑭ 上司 → 部下 「故障の原因を調べてください」



## (2) let ... ・ allow ... to ... ～は～に～を[v.t. causative].

① <sup>かあ</sup>お母さん、<sup>しゅくだい</sup>宿題終わったから、  
ゲームしてもいい？



③ わーい。

② じゃ、<sup>ばん</sup>晩ご飯まで<sup>30</sup>分だけね。



<sup>かあ</sup>お母さんは<sup>こども</sup>子供にゲームをさせました。

## 【例】

- ① <sup>こども</sup>子供にあまりゲームをさせないほうがいいと思います。  
② <sup>わたし</sup>私は<sup>こども</sup>子供にいろいろなスポーツをさせたいと思っています。  
③ <sup>りょうしん</sup>両親は<sup>わたし</sup>私に<sup>なら</sup>ピアノを習わせませんでした。  
| くれませんでした。  
④ <sup>はは</sup>母は、<sup>わたし</sup>私が<sup>だいがくせい</sup>大学生の時、<sup>わたし</sup>私に<sup>くるま</sup>車の<sup>めんきょ</sup>免許を取らせませんでした。  
| くれませんでした。

## 【練習】

- ① <sup>かあ</sup>お母さん → <sup>こども</sup>子供 「<sup>み</sup>テレビを見てもいいわよ」  
② <sup>かあ</sup>お母さん → <sup>こども</sup>子供 「<sup>なん</sup>何でも<sup>す</sup>好きなものを<sup>か</sup>買っていいわよ」  
③ <sup>ちち</sup>父 → <sup>わたし</sup>私 「<sup>なん</sup>何でも<sup>す</sup>好きなことをしていいよ」  
④ <sup>わたし</sup>私 → <sup>こども</sup>子供 「<sup>コーラ</sup>はだめだよ。<sup>ちや</sup>お茶ならいいけど」  
⑤ <sup>しゃちょう</sup>社長 → <sup>わたし</sup>私 「<sup>わたし</sup>私の<sup>くるま</sup>車を使<sup>つか</sup>ってください」



## (2) [Causative te-form]ください。 Please let me ... / Please allow me to ...

	Group 1	Group 2	Irregular verbs	
Group 2	の 飲 <small>のみ</small> みます	た 食 <small>た</small> べます	します	来 <small>き</small> ます
	飲 <small>のみ</small> ませます る ない た なかった て れば	させます る ない た なかった て れば	させます させる させない させた させなかった させて させれば	来 <small>き</small> させます 来 <small>き</small> させる 来 <small>き</small> させない 来 <small>き</small> させた 来 <small>き</small> させなかった 来 <small>き</small> させて 来 <small>き</small> させれば
	やす 休 <small>やす</small> みます つか 使 <small>つか</small> います えら 選 <small>えら</small> びます	かんが 考 <small>かんが</small> えます しら 調 <small>しら</small> べます やめ やめ <small>やめ</small> ます	も 持 <small>も</small> って来 <small>き</small> ます つ 連 <small>つ</small> れて来 <small>き</small> ます	
			かくにん 確 <small>かくにん</small> 認 <small>認</small> します、チェッ <small>ク</small> します	

【例】 トイレれいに行いきたいです。 → トイレれいに行いかせてください。

① 明日あした休やすみたいです。 → \_\_\_\_\_

② こここに荷物にもつを置おきたいです。 → \_\_\_\_\_

③ 水みずを飲のみたいです。 → \_\_\_\_\_

④ 時間じかんを確かくにん認認したいです。 → \_\_\_\_\_

⑤ 電話でんわに出でたいです。 → \_\_\_\_\_

⑥ もう少すこし考かんがえたいです。 → \_\_\_\_\_

⑦ ここで待まちたいです。 → \_\_\_\_\_

⑧ 少すこし休きゆうけい憩憩したいです。 → \_\_\_\_\_

⑨ ちよちよと食たべたいです。 → \_\_\_\_\_

⑩ 今日きょう早はやく帰かえりたいです。 → \_\_\_\_\_

⑪ 私わたしも手て伝つだいたいです。 → \_\_\_\_\_

⑫ 今日きょうは私わたしが払はらいたいです。 → \_\_\_\_\_

## (3) ～は～を[v.i. causative].

## (1) make ... ～は～を[v.i. causative].

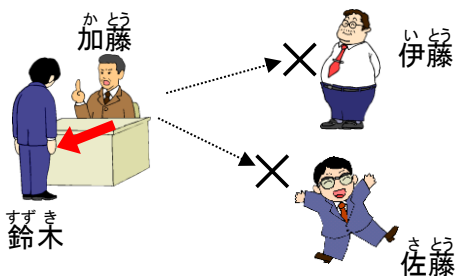


サッカーチームのコーチは田中さん<sup>たなか</sup>を<sup>はし</sup>走らせました。

## 【例】

- ① 私<sup>わたし</sup>は彼<sup>かれ</sup>を出張<sup>しゅつちやう</sup>に行かせました。
- ② 先生<sup>せんせい</sup>は子どもたち<sup>こ</sup>をうち<sup>こえ</sup>に帰らせました。
- ③ 先生<sup>せんせい</sup>は子どもたち<sup>こ</sup>を立<sup>た</sup>たせました。
- ④ 先生<sup>せんせい</sup>は子どもたち<sup>こ</sup>をいす<sup>すわ</sup>に座らせました。
- ⑤ 私<sup>わたし</sup>は都合<sup>つごう</sup>が悪い<sup>わる</sup>ので、代わりに秘書<sup>ひしよ</sup>をパーティー<sup>しゅつせき</sup>に出席させます。

ポイントする時(例えばたくさんの中<sup>ひと</sup>から選ぶ<sup>えらぶ</sup>時)は「を」ではなく、「に」<sup>つか</sup>を使います。



加藤<sup>かとう</sup>さんは鈴木<sup>すずき</sup>さん<sup>に</sup>大阪<sup>おおさか</sup>に行かせました。

## 【練習】

- ① お母さん<sup>かあ</sup> → 子供<sup>こども</sup> 「もっと速く<sup>はや</sup>歩いて！」
- ② 先生<sup>せんせい</sup> → 子供<sup>こども</sup> 「早く<sup>はや</sup>帰った<sup>かえ</sup>ほうがいいよ」
- ③ 上司<sup>じょうし</sup> → 部下<sup>ぶか</sup> 「悪い<sup>わる</sup>けど、今週<sup>こんしゅう</sup>は日曜日<sup>にちようび</sup>も働<sup>はたら</sup>いてください」
- ④ 上司<sup>じょうし</sup> → 部下<sup>ぶか</sup> 「明日<sup>あした</sup>は日曜日<sup>にちようび</sup>だけど、会社<sup>かいしゃ</sup>に<sup>ま</sup>来てください」
- ⑤ 上司<sup>じょうし</sup> → 部下<sup>ぶか</sup> 「海外<sup>かいがい</sup>出張<sup>しゅつちやう</sup>に行<sup>い</sup>ってください」



## (2) let ... ・ allow ... to ... ～は～を[v.i. causative].

① お母さん、もう、かぜ、治ったから  
外で遊んでもいい？

③ わーい。

② じゃ、晩ご飯まで30分だけね。

お母さんは子供を外で遊ばせました。

① 患者：足のけがもよくなったので、少し歩いてもいいですか。

医者：そうですね。いいでしょう。でも、あまり無理をしないでくださいね。

患者：はい、わかりました。



→ お医者さんは\_\_\_\_\_

② 社員：明日、World PC Expo があるんですが、行ってもいいですか。

社長：明日は、会議もないし、かまわないよ。  
do not mind/care

社員：ありがとうございます。

→ 社長は\_\_\_\_\_

③ ご主人：金曜日に会社で、六本木に飲みに行こうかって言ってるんだけど、いいかな？

奥さん：ああ、そう。行ってもいいわよ。

ご主人：悪いね。早く帰ってくるからね。



→ 奥さんは\_\_\_\_\_

## (4) ～は[person]を[emotional verb の causative]

“make [somebody] to ...” のパターン

## 【例】

- ① 私は病びょう気きになって、両りょう親しんを心しん配ぱいさせました。
- ② 私は元げん気きになって、両りょう親しんを安あん心しんさせました。



## 【練習】

- ① 鈴木すずきさんはいつもおもしろい話はなしをして、みんなを\_\_\_\_\_ (わららいます)
- ② 彼かれはいつも約やく束そくの時間じかんに遅おくれて、彼女かのじょを\_\_\_\_\_ (おここります)
- ③ 社長しゃちょうはいつも急きゅうに予定よていを変かえて、秘書ひしょの山本やまもとさんを\_\_\_\_\_ (こまこります)
- ④ 10年ねんぶりに国くにに帰かえって、家族かぞくを\_\_\_\_\_ (よろここびました)
- ⑤ 木村きむらさんはオリムピックの選せん手しゅになって、両りょう親しんを\_\_\_\_\_ (びっくりしました)
- ⑥ 私わたしは妹いもうとのおもちゃを壊こわして、妹いもうとを\_\_\_\_\_ (なな泣ないてしまいました)
- ⑦ スポーツ選せん手しゅのドーピングはファンを\_\_\_\_\_ (がっかりしました)
- ⑧ マリリンモンローの突とつ然ぜんの死しは人々ひとびとを\_\_\_\_\_ (かなな悲なしみました)
- sudden

## (5) 質問

- (1) 私わたしは毎まい週しゅう、月げつ・水すい・金きんのごみごみの日ひに、夫おととにごみごみを出ださせます。



Q1: 誰だれがごみごみを出だしますか。\_\_\_\_\_

Q2: 誰だれがごみごみを出ださせますか。\_\_\_\_\_

Q3: いつごみごみを出だしますか。\_\_\_\_\_

- (2) 加藤かとう部長ぶちょうは鈴木すずきさんにレポれーぽの間ま違ちがいを直なおさせました。

Q1: 誰だれが直なおしましたか。\_\_\_\_\_

Q2: 誰だれが直なおさせましたか。\_\_\_\_\_

Q3: 何なにを直なおしましたか。\_\_\_\_\_

(3) 子供は風邪をひいて熱があります。お母さんは子供を家にいさせました。



Q1: 誰が家にいますか。\_\_\_\_\_

Q2: どうして家にいますか。\_\_\_\_\_

Q3: 誰が子供を外に出させませんか。\_\_\_\_\_

(4) お客様は秘書に「社長が帰るまで、待たせてください」と言いました。

Q1: 誰が待ちますか。\_\_\_\_\_

Q2: いつまで待ちますか。\_\_\_\_\_